



Grow thru knowledge

GeneXus X Evolution 1

インストールガイド

2012 年 06 月

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田 5 丁目 10-18、TK 五反田ビル 3F

電話番号 : 03-5793-5481 FAX : 03-5793-5484

<http://www.genexus.jp>

目次

はじめに	3
システム要件	4
ソフトウェア要件	4
ハードウェア要件	4
ユーザー登録	5
アプリケーションのインストール	7
ライセンス発行の流れ	10
ライセンス請求	12
新規ライセンス請求	12
継続ライセンス請求	22
ライセンスのアンインストール	28
ライセンス取得	29
ライセンスの移行	32
ネットワーク上のユーザーにライセンスを移行する	32
2台のコンピュータ間でライセンスを移行する	36
ライセンスの再発行について	40
エビデンスファイルを提出できる場合	40
エビデンスファイルを提出できない場合	41
緊急ライセンスの発行依頼	42

はじめに

本書では、GeneXus X Evolution 1 のインストール手順、ユーザー登録、ライセンスの請求および登録手順について説明しています。また、何らかのトラブルによって、ライセンスを喪失してしまった場合の再発行手順についても説明しています。

新規・継続に関わらず、ライセンス請求の前に注文書を弊社宛に郵送して頂く必要があります。また、弊社での注文書の確認前にライセンスの請求を行うと、ライセンスの発行が遅れる場合があります。なお、事前にユーザー登録された担当者以外のライセンスの請求は受け付けておりません。

トラブルによるライセンスの喪失の場合、画面のスクリーンショットやログファイルなどエビデンスが必要になります。また、これらのエビデンスが入手困難なトラブルの場合には、再発行依頼書に社判を押印のうえ、弊社宛に郵送して頂く必要があります。

GeneXus のライセンスの転売は禁止されております。同一のお客様および組織変更などの場合を除き、ほかのお客様に変更／譲渡することはできません。ライセンスの請求・登録の際には必ず内容を確認し、ライセンスの取り扱いには十分に注意してください。

システム要件

GeneXus X Evolution1 を実行するには、次のようなハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

ソフトウェア要件

- Microsoft Windows XP SP2 以上、Microsoft Window Vista、Microsoft Windows 7
- Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 以上
- Microsoft SQL Server 2005/2008 Express エディションまたは Standard エディション
- Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 以上

ハードウェア要件

- プロセッサ: 1 GHz 以上
- メモリー: 1 GB 以上の RAM
- ハードディスク: インストールには 300 MB 以上の空き領域が必要。ナレッジベースを保存するには、追加の空き領域が必要となります。

ユーザー登録

GeneXus Japan の Web サイト内の「問題追跡システム」または「サポート」ページからユーザー登録を行います。ここで登録したユーザー名とパスワードは、ライセンス請求のほかに、「問題追跡システム」、「フォーラム」、技術者向けの文書、プラグイン、製品、およびアップデートなどをダウンロード可能な「Gxtechnical」を利用する際にも使用します。

1. GeneXus Japan の Web サイト内にある「問題追跡システム」または「サポート」ページにアクセスします：<http://www.genexus.com/community-and-support-jp/support?ja>
2. 画面右側にある「新規登録」をクリックします。



参考：既に「Gxtechnical」(www.gxtechnical.com) でユーザーアカウントを登録している場合、ユーザー登録は不要です。ライセンス請求をする際には、「Gxtechnical」のユーザー名とパスワードを使用してください。

3. 次のような「ユーザー登録」画面が表示されます。「*」の付いている項目は必須です。それぞれの入力フィールドに情報を入力します。

[Japan](#) > [ユーザ登録](#)

GeneXus コミュニティへ入会

名* <small>半角英数文字を指定してください</small>	姓* <small>半角英数文字を指定してください</small>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
国* <div>URUGUAY ▼</div>	電子メール* <input type="text"/>
ユーザー名* <small>半角英数文字を指定してください</small> <input type="text"/>	パスワードの再入力* <input type="text"/>
パスワード* <small>半角英数文字を指定してください</small> <input type="text"/>	
 <input type="text"/>	
 <input type="text"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> プライバシーに同意します ご利用条件	<div>アカウント作成</div>

重要：「名」、「姓」、「ユーザー名」および「パスワード」は、必ず半角英数文字で指定してください。

4. すべての項目の入力が完了したら、「**アカウント作成**」ボタンをクリックします。

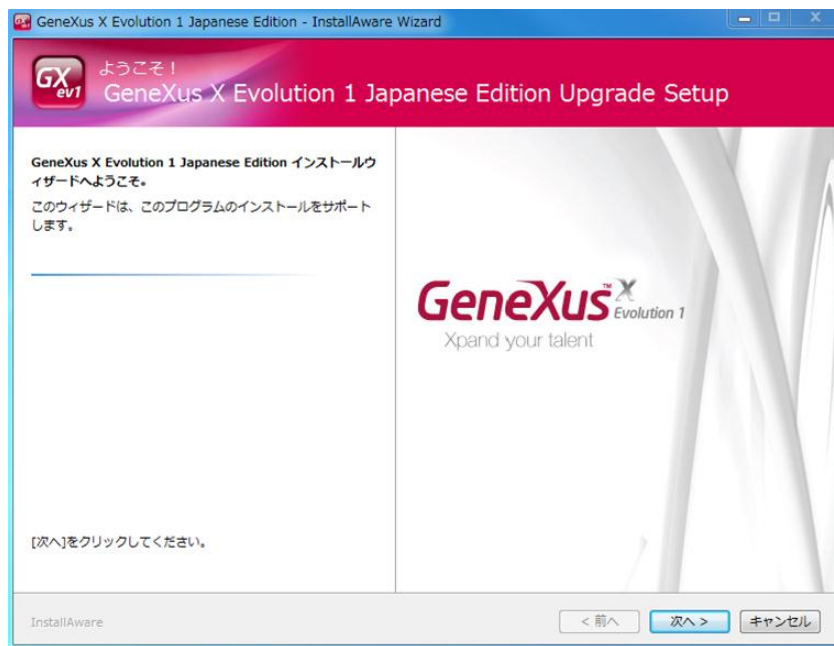
これでユーザー登録は完了です。ライセンスを請求／登録する場合は、後述の「[ライセンス請求](#)」および「[ライセンス取得](#)」の手順を参照してください。

アプリケーションのインストール

このセクションでは、GeneXus X Evolution 1 をインストールするための手順について説明します。インストールを実行するには、管理者権限が必要です。インストールの前に必ず前述の「[システム要件](#)」を参照してください。使用するコンピュータがこのセクションに記載されている要件を満たしていることを確認してから、セットアッププログラムを実行する必要があります。

1. セットアッププログラム(「GeneXusXEV1_ux_JP.exe」といった名称です) を右クリックして「**管理者として実行**」を選択します(XP の場合はダブルクリックします)。

次のような「インストールウィザード」画面が表示されます。

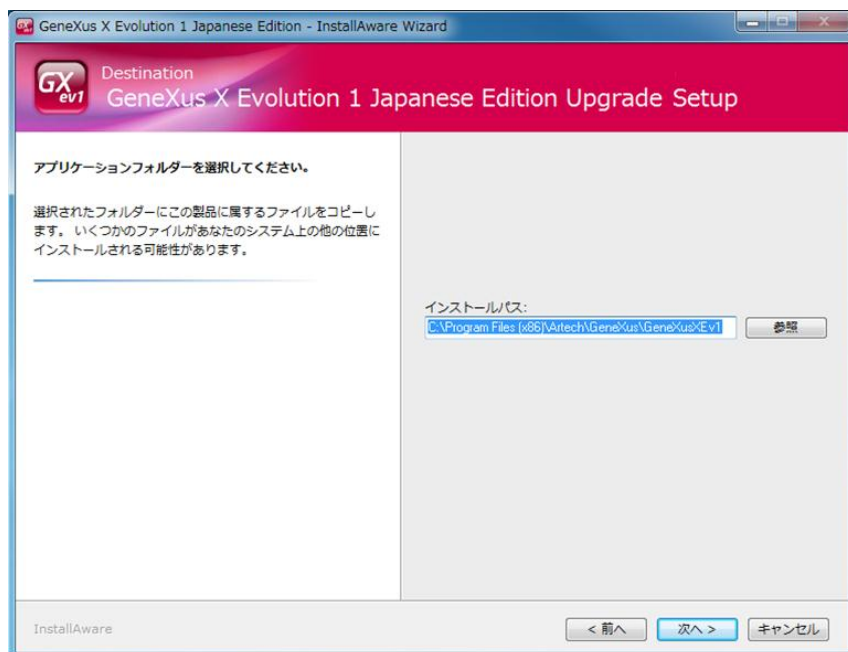


2. 「**次へ**」をクリックします。「ライセンス規約」が表示されます。
3. 「ジェネクスス期限付使用权許諾書」の内容を一読し、同意する場合は、画面右下部にある「**使用許諾書の条項に同意します。**」のチェックボックスを選択します。

使用許諾書に同意すると、「**次へ**」のボタンが選択可能になります。

4. 「**次へ**」をクリックします。「情報登録」画面が表示されます。
5. 「**名前**」フィールドに管理者の名前を入力し、「**会社名**」フィールドに会社名を入力します。

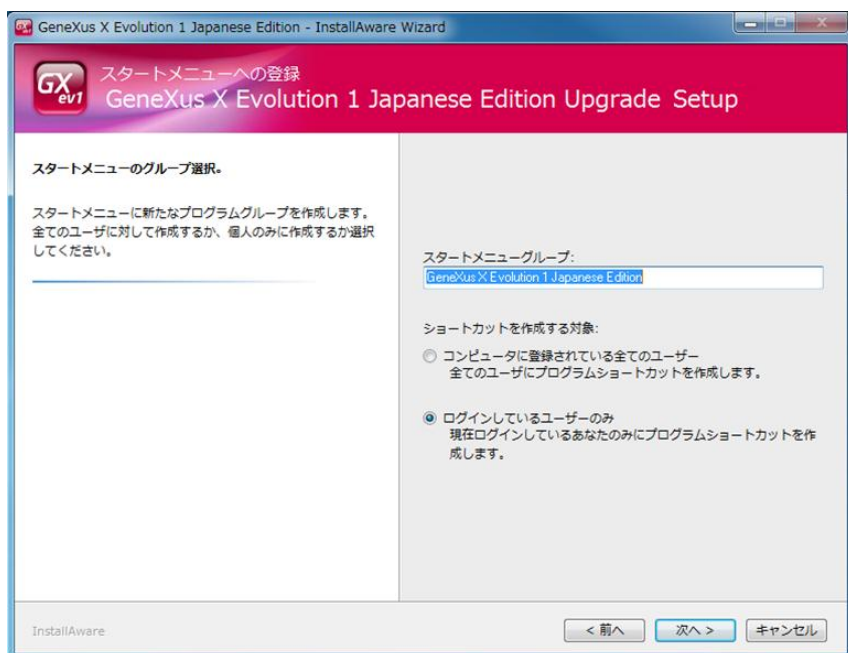
6. 「次へ」をクリックします。「インストール先の選択」画面が表示されます。



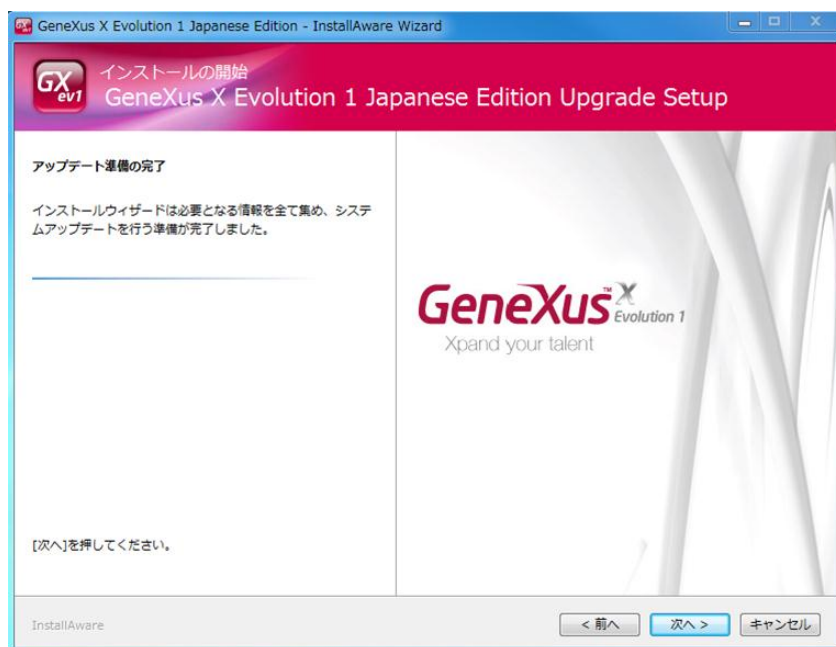
7. 「インストールパス」を指定します。「インストールパス」の右側にある「参照」ボタンをクリックして、任意の場所を指定することができます。

参考：既定のディレクトリーは c: \Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEv1 です。ほかのバージョンの GeneXus が使用しているディレクトリーは使用しないでください。

8. 「次へ」をクリックします。「スタートメニューへの登録」画面が表示されます。



9. 「スタートメニューグループ」フィールドにアプリケーション名を指定します。「ショートカットを作成する対象」として以下のいずれかのオプションを選択します。
 - 「コンピュータに登録されている全てのユーザー」：全てのユーザーにプログラムショートカットを作成します。
 - 「ログイン」：現在ログインしているユーザーにのみプログラムショートカットを作成します。
10. 「次へ」をクリックします。インストールウィザードにより、インストールに必要なアプリケーションが全て揃っているかどうかを検証されます。インストール可能な状態である場合、次の「インストールの開始」画面が表示されます。



11. 「次へ」をクリックします。インストールの進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。
12. 「セットアップ完了」画面が表示されたら、次のいずれかのオプションを選択してから「完了」をクリックします。
 - GeneXus X Evolution 1 Japanese Edition を実行する：アプリケーションが起動し、ライセンス認証用のダイアログが表示されます。「新規ライセンス請求」ボタンをクリックすると、ライセンスを請求することができます。

参考：このライセンス認証用のダイアログの設定内容は「GeneXus License Manager」と同一です。詳しくは、後述の「[新規ライセンス請求](#)」を参照してください。

- セットアップを終了する：セットアップ プログラムを終了します。

これで GeneXus X Evolution 1 のインストールは完了です。アプリケーションを使用するには、ライセンスの請求／登録が必要です。後述の「[ライセンス請求](#)」の手順を参照してください。

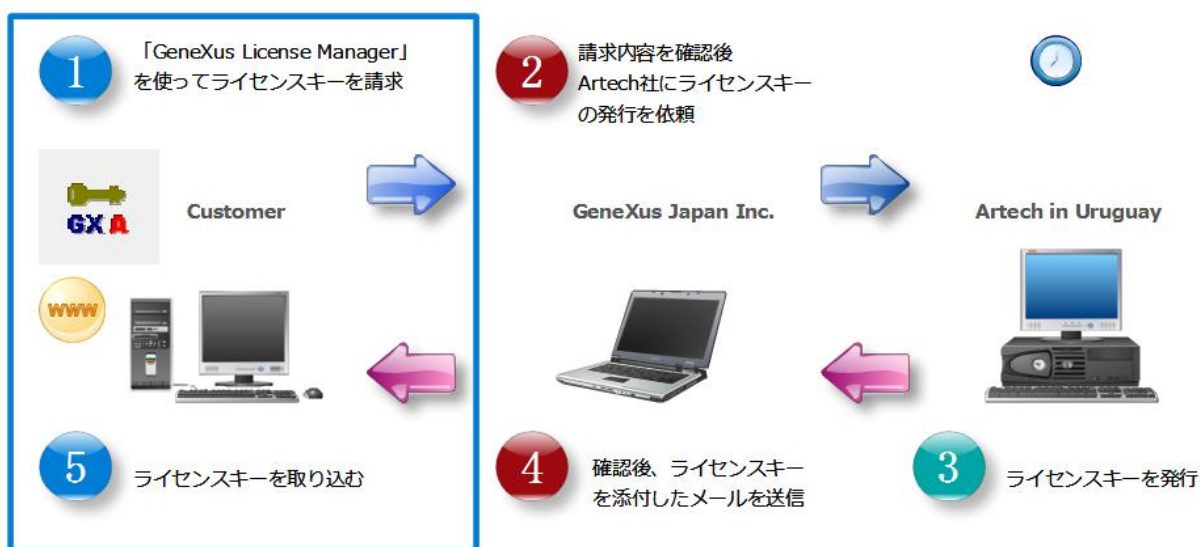
ライセンス発行の流れ

このセクションでは、GeneXus のライセンス請求、発行、取得（登録）までの流れを簡単に説明します。ライセンス請求に関する詳細な手順は後述の「[ライセンス請求](#)」を参照してください。

なお、ライセンスを請求する前に、あらかじめ GeneXus X Evolution 1 をインストールしておく必要があります。GeneXus のインストール方法については、前述の「[アプリケーションのインストール](#)」を参照してください。

ライセンスの請求から取得までの流れは次のとおりです：

1. 使用するコンピュータから GeneXus License Manager を使ってライセンスキーを請求する
2. 請求内容を GeneXus Japan で確認し、ライセンスキーの発行を Artech 社に依頼する
3. Artech 社よりライセンスキーを発行する
4. ライセンスキーを GeneXus Japan で確認し、ライセンスキーを添付したメールを送信する
5. メールに添付されたライセンスキーを取り込む



重要：ライセンスキーは、「GeneXus X Evolution 1」をインストールしたマシンから請求する必要があります。ライセンスキーの請求に使用する「GeneXus License Manager」は「GeneXus X Evolution 1」にバンドルされています。また、複数のライセンスを一括請求し、それを個別のユーザーに配布することもできます。詳しくは後述の「[ライセンスの移行](#)」を参照してください。

重要：ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

ライセンス請求

このセクションでは、ライセンスを新規で請求する場合、ライセンスの使用期限を残した状態で継続（期限の延長）請求する場合の手順について説明しています。また、オンラインとオフラインの2つの請求方法についても説明しています。

新規ライセンス請求

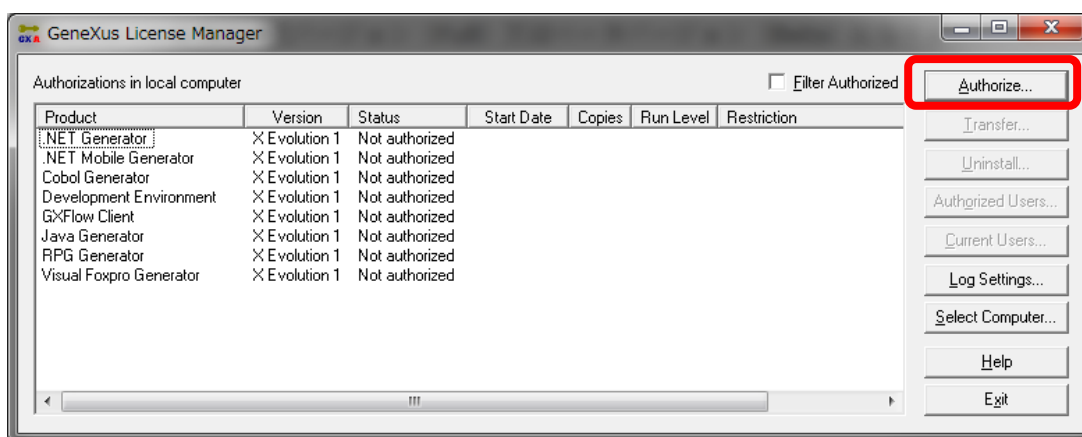
オンラインライセンス請求

次の手順にしたがって、オンラインで新規にライセンスを請求します。

重要：オンラインでライセンスを請求するには、インターネットに接続する必要があります。あらかじめインターネットの接続が有効であることを確認してください。また、お使いの環境によってはオンライン請求が利用できない場合があります。オフラインでライセンスを請求する方法については、後述の「[オフラインライセンス請求](#)」を参照してください。

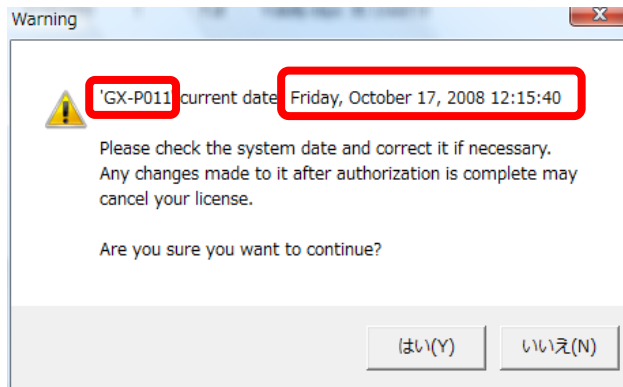
1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



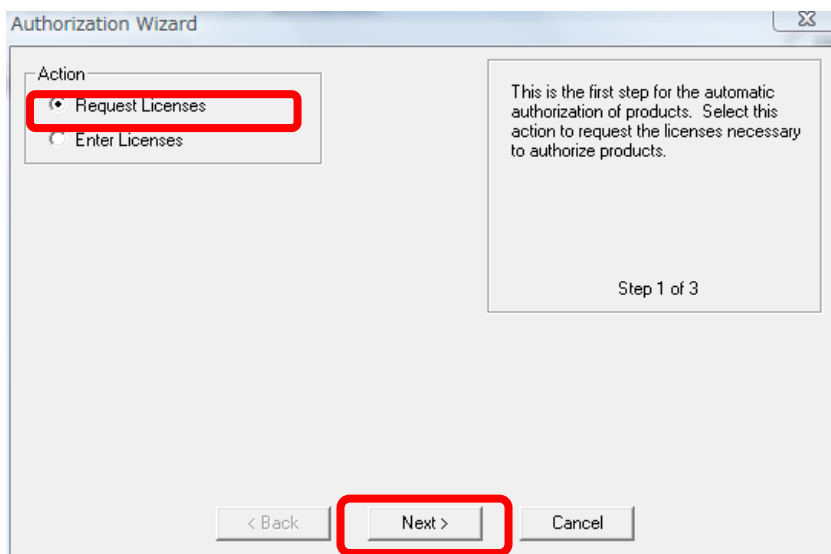
2. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。

次のようなダイアログが表示され、コンピュータ名、日付と時間の確認画面が表示されます。



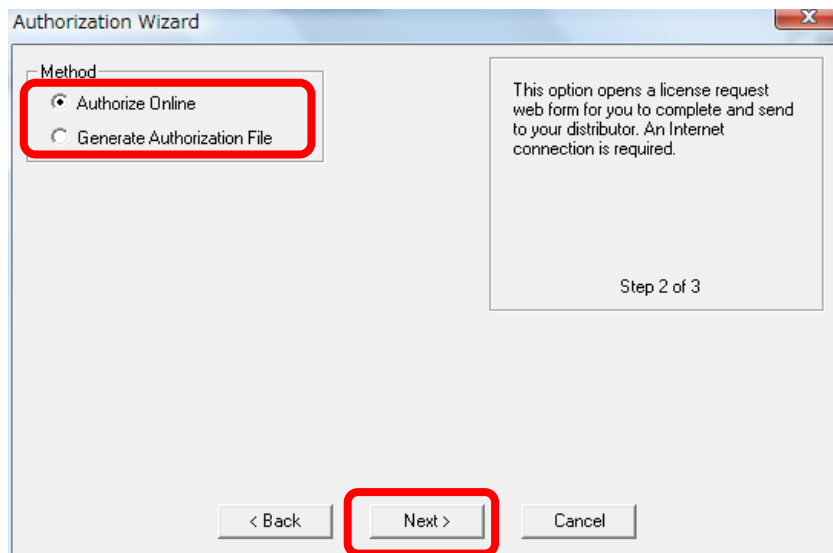
3. 表示内容を確認し、「**はい**」ボタンをクリックします。

ライセンスの請求または取り込みオプションが表示されます。



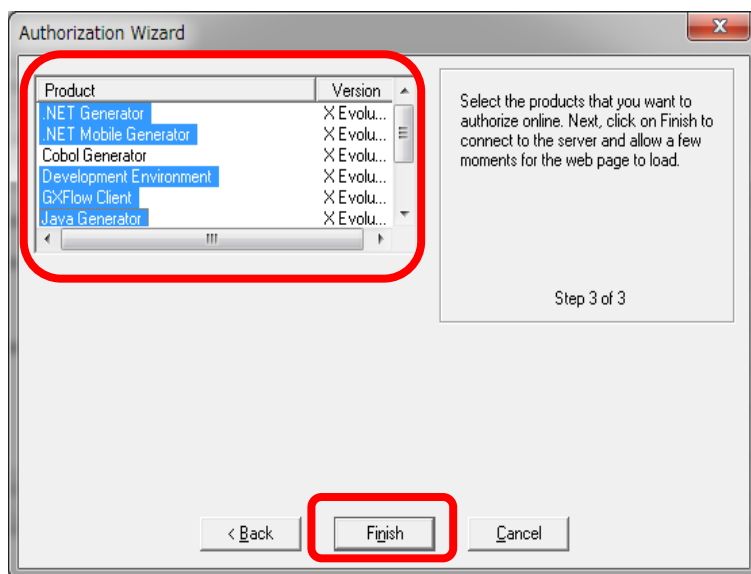
4. 「**Request License**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。

次のようなライセンス請求方法の選択画面が表示されます。請求方法はオンライン（Authorize Online）とオフライン（Generate Authorization File）の2種類があります。



5. 「**Authorize Online**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。

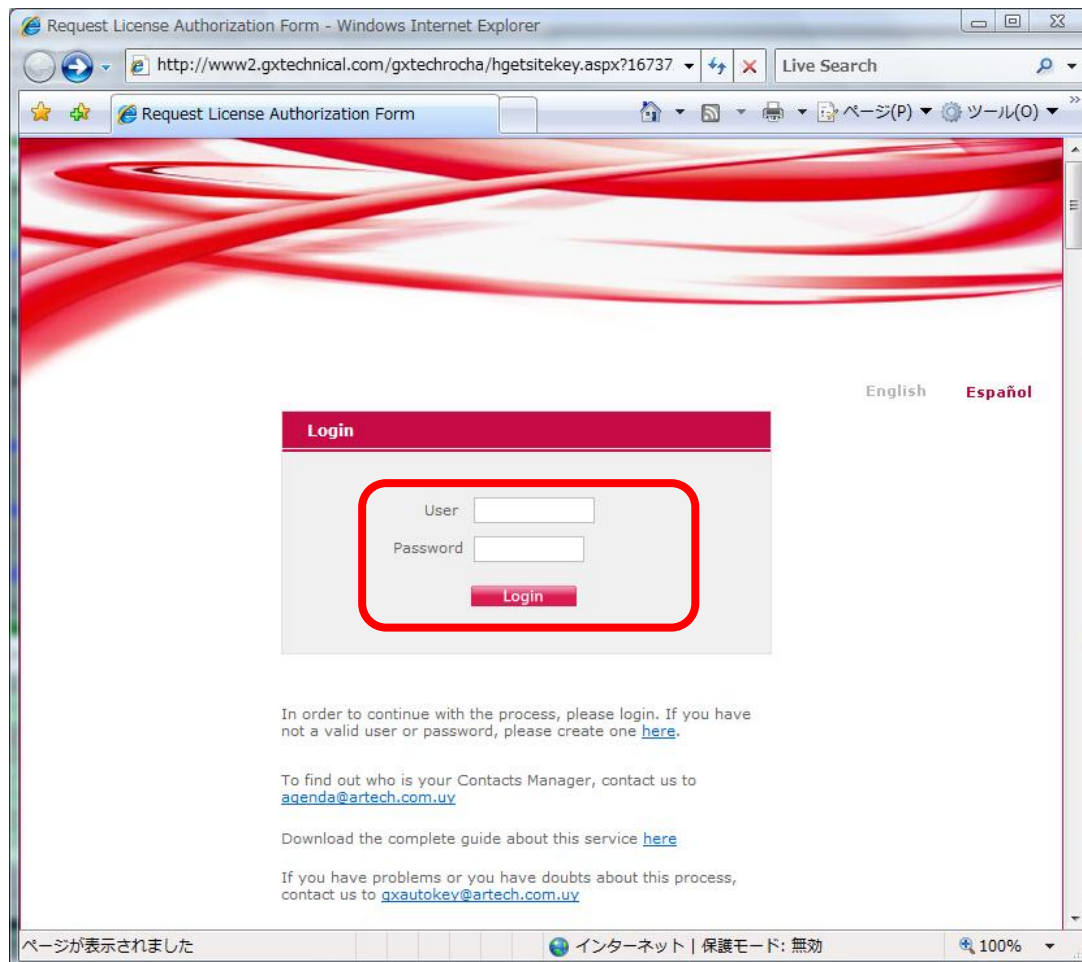
請求する製品の選択画面が表示されます。



6. 任意の製品を選択してから、「**Finish**」ボタンをクリックします。

参考： 隣り合う複数の製品を選択する場合は Shift キーを押したままクリックします。それ以外の複数の製品を選択する場合は Control キーを押したままクリックします。

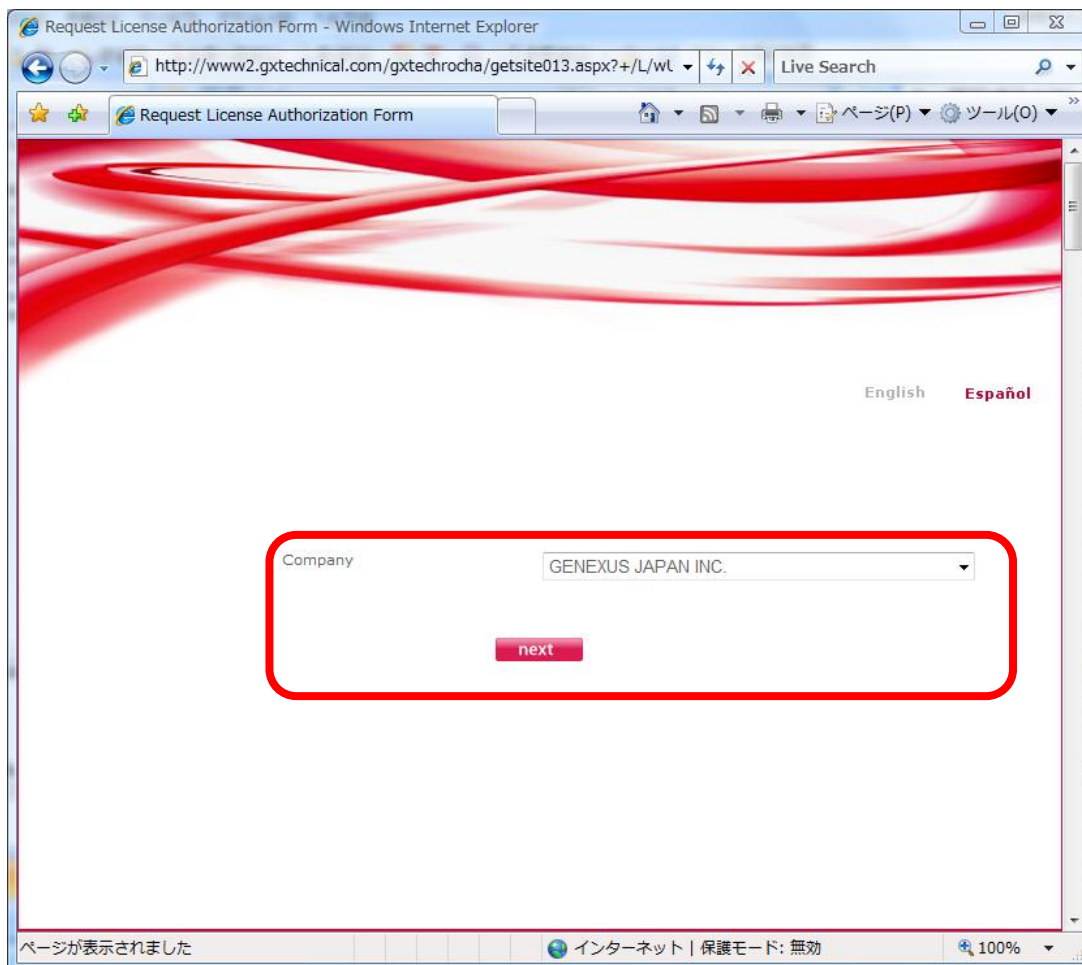
既定のブラウザが自動的に起動し（起動していない場合）、次のような画面が表示されます。



7. 「**User**」フィールドにユーザー名を入力し、「**Password**」フィールドにパスワードを入力してから、「**Login**」ボタンをクリックします。

重要： このログイン画面では、www.gxtechnical.com または問題追跡システム (<http://www.genexus.com/jp-it/ITLogin?ja>) で登録したユーザーアカウントを使用する必要があります。ユーザー登録の方法については、前述の「[ユーザー登録](#)」のセクションを参照してください。

8. ライセンスを請求する会社名を選択し、「**Next**」ボタンをクリックします（ログインユーザーが関連している会社が複数表示される場合、ライセンスを請求する会社名を選択してください）。



ライセンスの請求画面が表示されます。ここには、ログインしたユーザーの情報と「GeneXus License Manager」で選択した製品が一覧表示されます。

画面の詳細は次のとおりです：

- Contact Information
 - ◆ Name: ログインユーザー名（ライセンス請求者）
 - ◆ Company: 会社名
 - ◆ Please select your country: 国名
 - ◆ Email to receive the keys: ライセンスキーを受け取るメールアドレス
 - ◆ Distributor: 販売会社名（GeneXus Japan Inc. 以外が表示されている場合は、GeneXus Japan Inc. を選択してください）

上記のセクションは確認用です。内容を編集する必要はありません。

- Requested site keys
 - ◆ Product: 製品名
 - ◆ Version: GeneXus のバージョン名
 - ◆ **Type: 請求の種類**
 - **New Authorization** : 新規請求の場合に選択します。このオプションを選択すると、ライセンス数と有効日数を指定することができます。
 - **Add Licenses**: ライセンス数の追加を請求する場合に選択します。このオプションを選択すると、ライセンス数のみを追加することができます。同時に有効日数を変更することはできません。
 - **Change Restrictions**: 継続請求（ライセンスの延長）の場合に選択します。このオプションを選択すると、有効日数のみを変更することができます。同時にライセンス数を追加することはできません。
 - ◆ **#Users: ライセンスの必要数**
 - ◆ Restriction: 制限（日本語版では未対応）
 - ◆ **#Days: ライセンスの有効日数**
 - Do you want to send any comments?: 入力は不要です（弊社記入用）。
9. 「Requested site keys」の「Type」から「New Authorization」を選択し、「#Users」および「#Days」に必要な数量を入力します。

重要 : ライセンス数（ユーザー数）と有効日数の両方を同時に変更することはできません。はじめにどちらか一方のライセンス請求を行い、変更されたライセンスを取り込んだ後で、もう一方のライセンス請求を行う必要があります。

Request License Authorization Form - Windows Internet Explorer

http://www2.gxtechnical.com/gxtechrocha/getsite002.aspx?34QbkYVF+pWPI

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

お気に入り Request License Authorization Form

Contact Information

Name: GENEXUS NAME
Company: GENEXUS
Please, select your country: JAPAN
Email to receive the keys: GENEXUS@genexus.jp
Distributor: GENEXUS JAPAN INC.

Requested site keys

Product	Version	Type	#Users	Restriction	#Days
Gen. .NET	XEV1	Change Restrictions	1	Limited	30
GXFlow Client App	XEV1	Change Restrictions	1	Limited	30
Gen. JAVA	XEV1	Change Restrictions	1	Limited	30
Dev.Env. Standard Ed	XEV1	Change Restrictions	1	Limited	30
Gen. .NET Mobile	XEV1	New Authorization	1	Limited	30

Do you want to send any comments?

confirm

ページが表示されました インターネット | 保護モード: 有効 100%

10. 請求内容を確認してから「**Confirm**」ボタンをクリックします。

これでオンラインでのライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンス取得](#)」を参照してください。

重要：ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

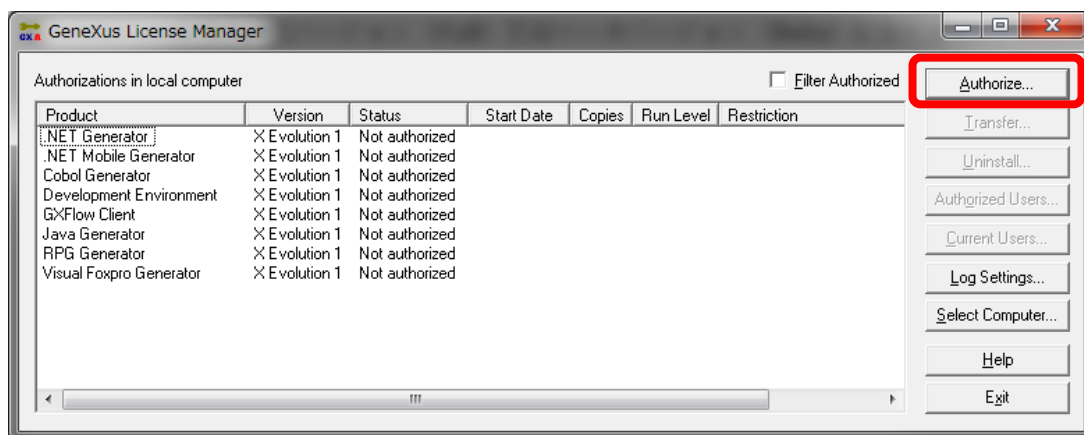
ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

オフラインライセンス請求

次の手順にしたがって、オフラインで新規にライセンスを請求します。オンラインでライセンスを請求する場合は、前述の「[オンラインライセンス請求](#)」を参照してください。

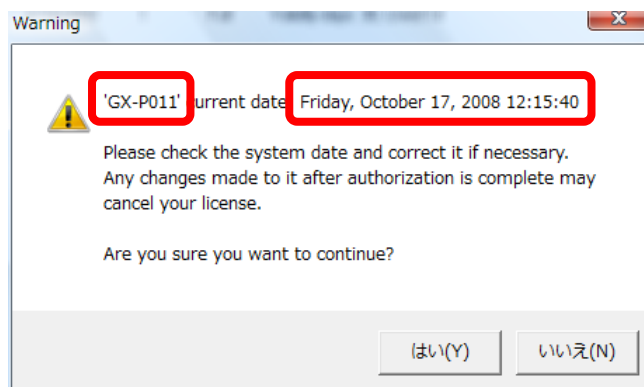


1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

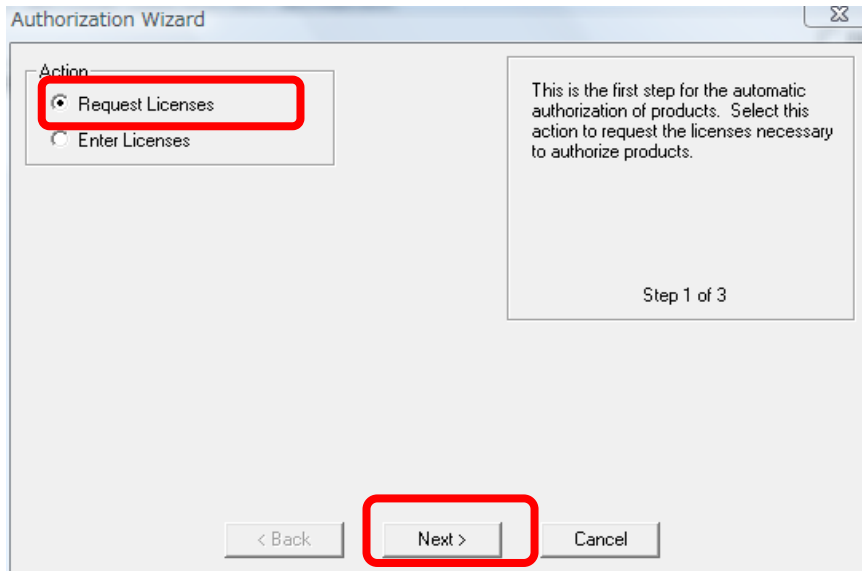
2. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。

次のようなダイアログが表示され、コンピュータ名、日付と時間の確認画面が表示されます。



3. 表示内容を確認し、「**はい**」ボタンをクリックします。

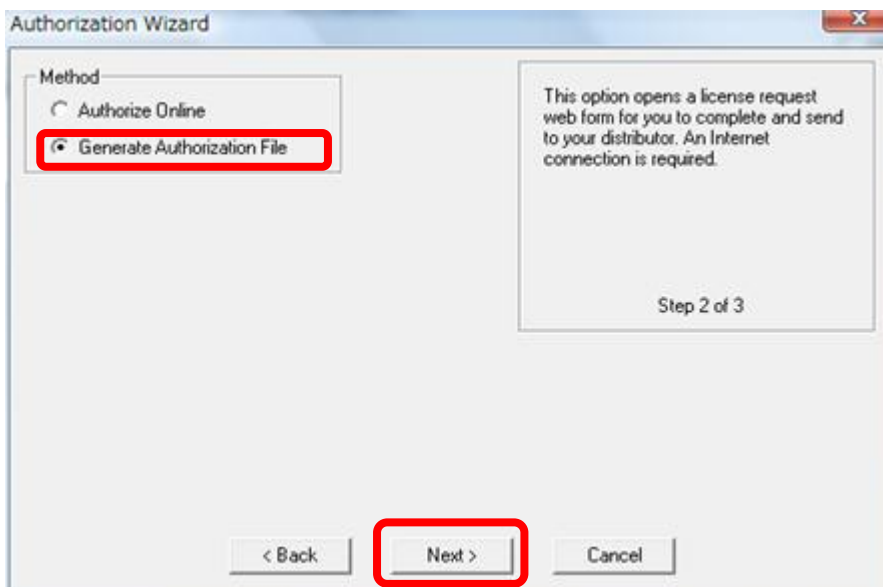
ライセンスの請求または取り込みオプションが表示されます。



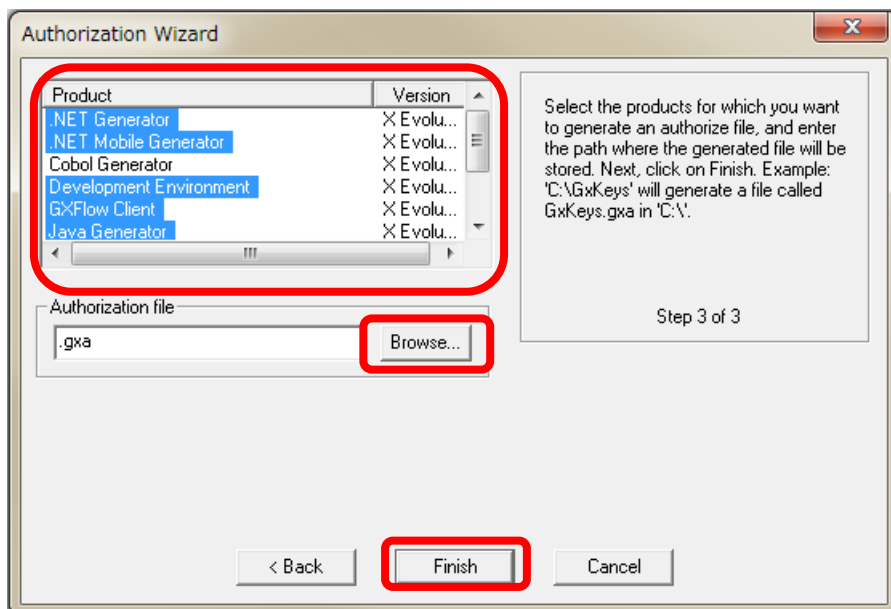
4. 「**Request License**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。

次のようなライセンス請求方法の選択画面が表示されます。請求方法はオンライン（Authorize Online）とオフライン（Generate Authorization File）の2種類があります。

5. 「**Generate Authorization File**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。



ライセンスを請求する製品の選択画面が表示されます。

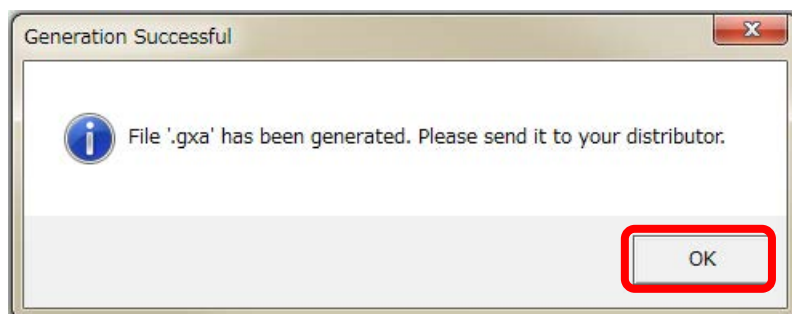


6. 任意の製品を選択してから、「**Finish**」ボタンをクリックします。

「.gxa」という名前のファイルが生成されます。このファイルの保存先を変更する場合には、「**Browse**」ボタンをクリックしてから、任意の場所を指定します。

参考：隣り合う複数の製品を選択する場合は Shift キーを押したままクリックします。それ以外の複数の製品を選択する場合は Control キーを押したままクリックします。

「.gxa」ファイルが生成されたことを示す、次のようなダイアログが表示されます。



7. 「**OK**」ボタンをクリックします。保存先を変更していない場合、GeneXus のプログラムと同じ場所に「.gxa」ファイルが保存されます。



8. メールアプリケーションで新規メールを作成し、手順 6 で生成した「.gxa」ファイルを
keysmaster@genexus.jp に送信します。

以上でオフラインでのライセンスの請求は完了です。

ライセンスキーは、上記手順 8 の「.gxa」ファイルを送信したメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンス取得](#)」を参照してください。

重要：ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

継続ライセンス請求

ライセンスの有効日数が残存している状態で、有効日数を延長（ライセンスを継続）することができます。このセクションでは、継続ライセンス請求について説明します。

重要：ライセンスの有効日数が 0 になると、ライセンスが失効されるため、新規にライセンスを請求しなおす必要があります。ライセンスの期限切れを防ぐため、ライセンスの継続請求は 5 営業日前までをお願い致します。

有効期限よりも早めに継続請求を頂いた場合は、1 年間分の有効期間に早めに頂いた日数分をプラスしライセンスを発行致します。

例) <2012 年 3 月 15 日まで有効のライセンス>

2012 年 3 月 8 日継続請求 → 2013 年 3 月 15 日まで有効のライセンスとして、ライセンスを発行

1 年間分+早めにご請求を頂いた日数分をプラスし、ライセンスを発行致します。

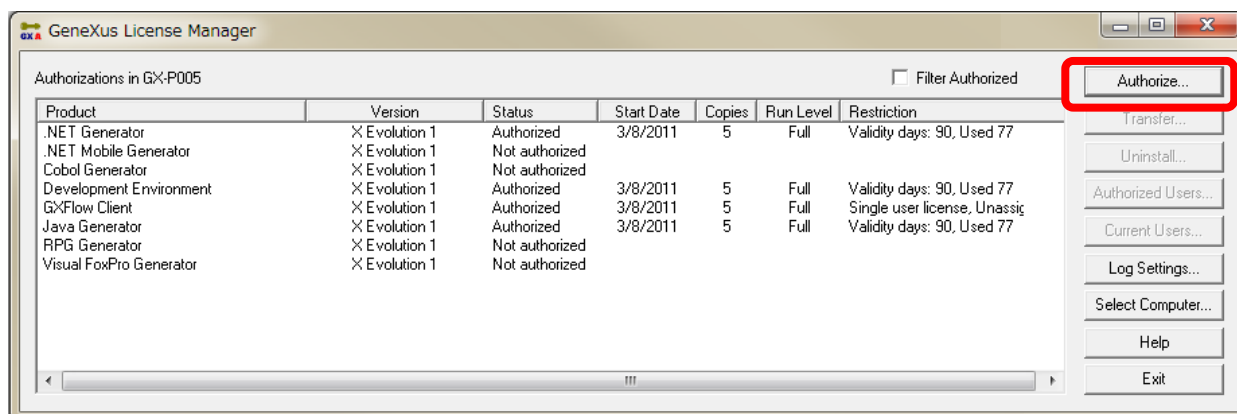
オンライン継続ライセンス請求

次の手順にしたがって、オンラインでライセンスの継続を請求します。

重要： オンラインで継続ライセンス請求を行うには、インターネットに接続する必要があります。あらかじめインターネットの接続が有効であることを確認してください。また、お使いの環境によってはオンライン請求が利用できない場合があります。オフラインで継続ライセンス請求を行う方法については、後述の「[オフライン継続ライセンス請求](#)」を参照してください。

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. 「[新規ライセンス請求](#)」の「[オンラインライセンス請求](#)」セクションの手順 2～8 にしたがいます。

次のようなライセンスキーの請求画面が表示されます。

Contact Information

Name: GENEXUS NAME
 Company: GENEXUS
 Please, select your country: JAPAN
 Email to receive the keys: GENEXUS@genexus.jp
 Distributor: GENEXUS JAPAN INC.

Requested site keys

Product	Version	Type	#Users	Restriction	#Days
Gen. .NET	XEV1	Change Restrictions	1	Limited	30
GXFlow Client App	XEV1	Change Restrictions	1	Limited	30
Gen. JAVA	XEV1	Change Restrictions	1	Limited	30
Dev.Env. Standard Ed	XEV1	Change Restrictions	1	Limited	30
Gen. .NET Mobile	XEV1	New Authorization	1	Limited	30

Do you want to send any comments?

3. 「Requested site keys」の「Type」から「Change Restrictions」を選択し、「#Days」に必要な日数を入力します。

参考：継続ライセンス請求の場合、「#Days」の欄には、残存するライセンスの有効日数が表示されています。この欄には、請求当日の残存日数に必要なライセンス有効日数を加算した数字を入力する必要があります。

重要：ライセンス数（ユーザー数）と有効日数の両方を同時に変更することはできません。はじめにどちらか一方のライセンス請求を行い、変更されたライセンスキーを取り込んだ後で、もう一方のライセンス請求を行う必要があります。

4. 請求内容を確認してから「Confirm」ボタンをクリックします。

これでオンラインでの継続ライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンス取得](#)」を参照してください。

重要：ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

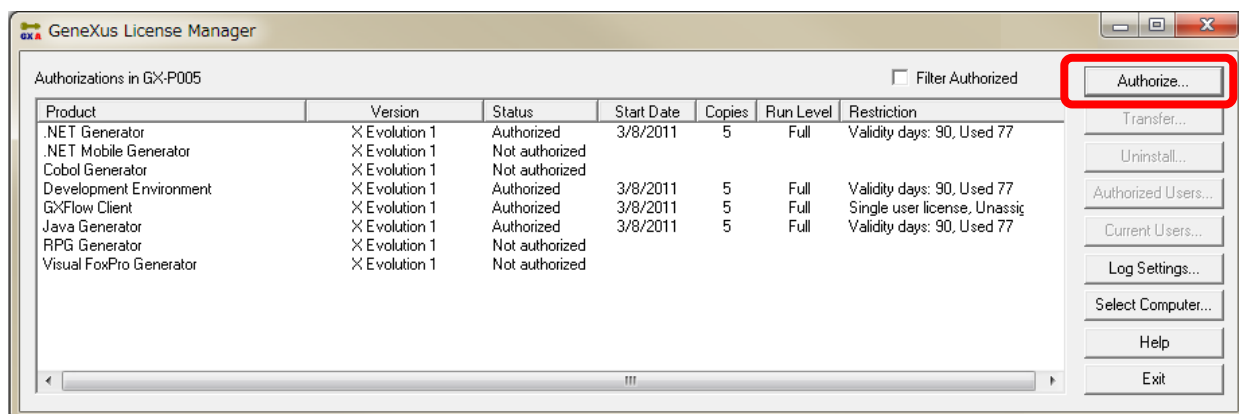
ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

オフライン継続ライセンス請求

次の手順にしたがって、オフラインで継続ライセンスを請求します。オンラインで継続ライセンスを請求する場合は、前述の「[オンライン継続ライセンス請求](#)」を参照してください。



1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. 「GeneXus License Manager」の起動時の画面（上図を参照）のスクリーンショットを撮り、保存します。スクリーンショットには「**Product**」、「**Version**」、「**Status**」、「**Start Date**」、「**Copies**」、および「**Restriction**」の「**Validity Days**」の内容が表示されている必要があります。
3. 「[新規ライセンス請求](#)」の「[オフラインライセンス請求](#)」セクションの手順 2～7 にしたがいます。
4. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルを keysmaster@genexus.jp に送信します。
 - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
 - 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
 - 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル
 - 弊社より送付済みのライセンス発行台帳に記載の License No.

以上でオフラインでの継続ライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、上記のファイルを送信したメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンス取得](#)」を参照してください。

重要：ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

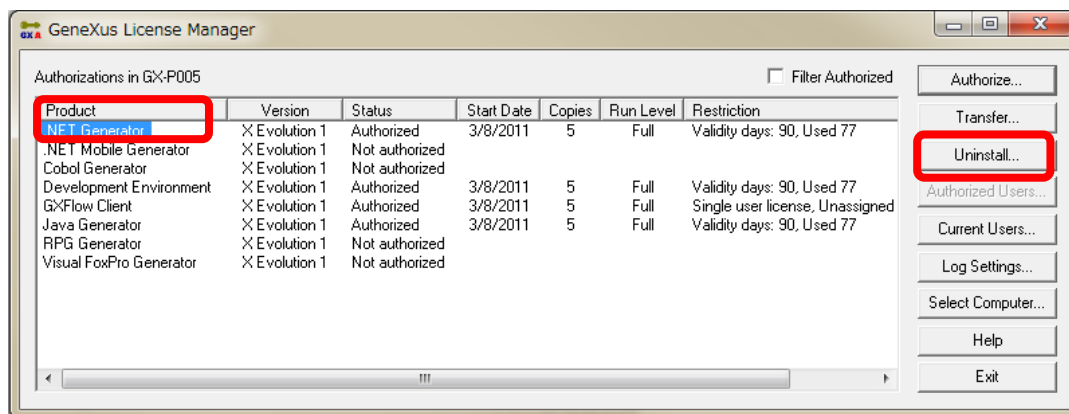
時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

ライセンスのアンインストール

ここではライセンスをアンインストールする方法について説明します。

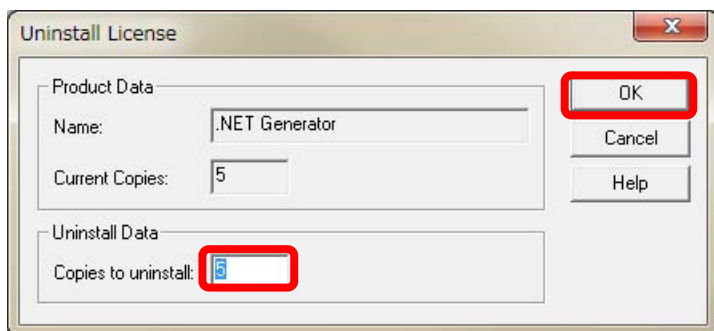
1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します
(Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「**GeneXus License Manager**」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. アンインストールする製品を選択してから、「**Uninstall**」ボタンをクリックします。

次のような「**Uninstall License**」画面が表示されます。



3. 「**Copies to uninstall**」フィールドにアンインストールするライセンス数を入力してから「**OK**」をクリックします。
4. ほかの製品もアンインストールする場合は、手順 2～3 を繰り返します。

ライセンス取得

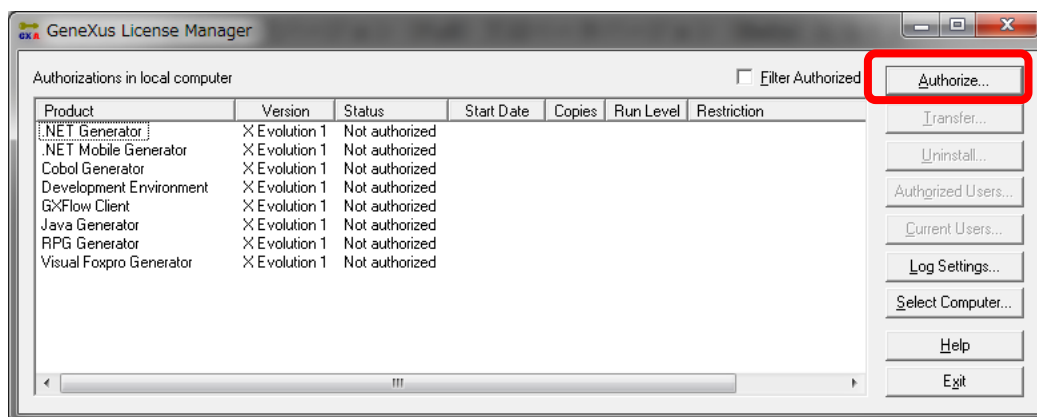
発行されたライセンスキーは、ユーザー登録済みのメールアドレスに送信されます。添付のファイルを開いて、ライセンスを請求したコンピュータにデータを取り込むことでライセンスを登録することができます。

このライセンスファイルを開くと、「**GeneXus License Manager**」が起動して自動的にライセンスキーを取り込み、取り込み結果が画面に表示されます。

ここでは、手でライセンスファイルを取り込む場合の手順を説明します。

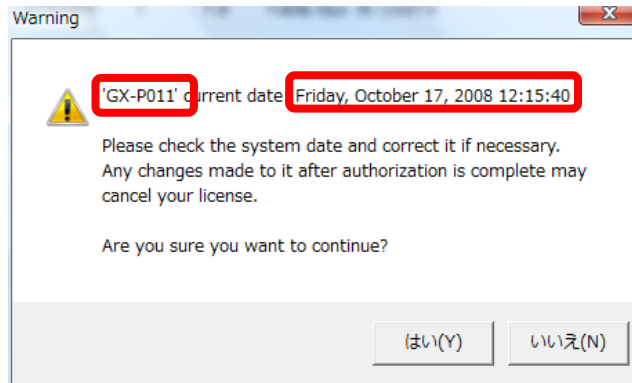
1. メールに添付されたライセンスファイルを、ライセンスを請求したコンピュータにコピーします。
2. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



3. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。

次のようなダイアログが表示され、コンピュータ名、日付と時間の確認画面が表示されます。

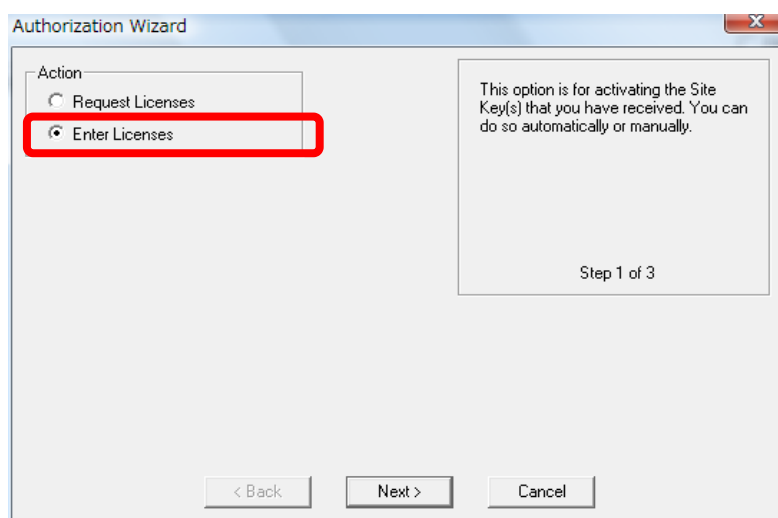


4. 表示内容を確認し、「はい」ボタンをクリックします。

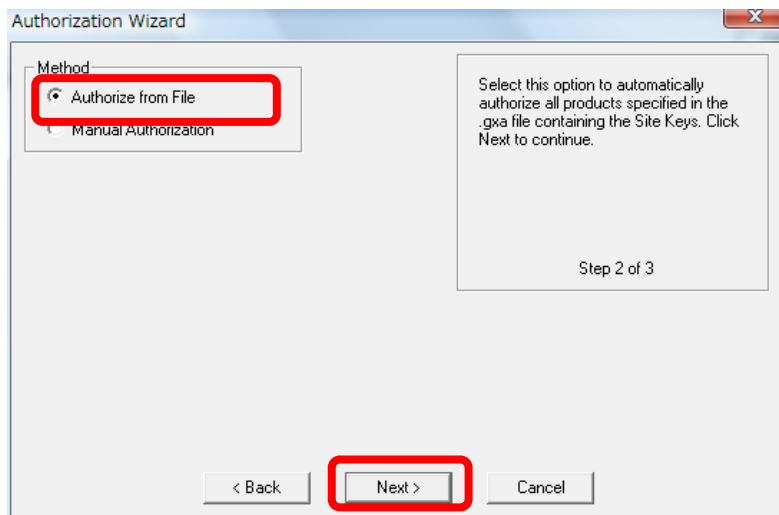
ライセンスの請求または取り込みオプションが表示されます。

5. 「Enter Licenses」を選択してから「Next」ボタンをクリックします。

次のような取り込み画面が表示されます。

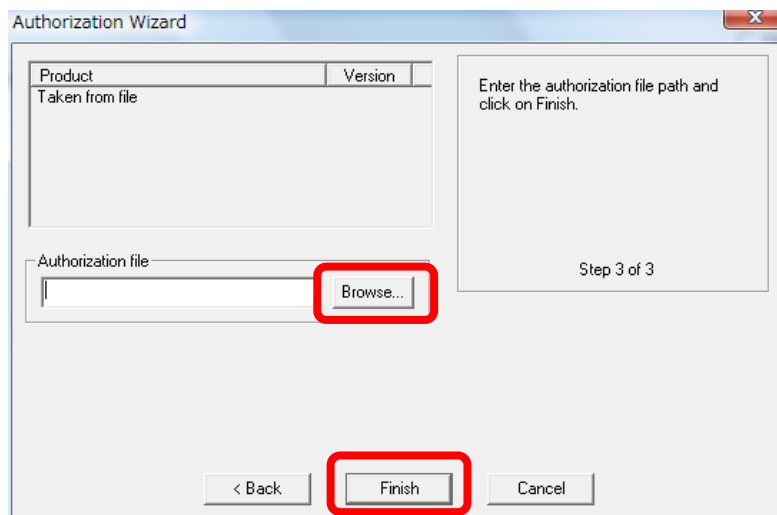


6. ファイルからライセンスキーを取り込む場合は「Authorize From File」を選択して「Next」ボタンをクリックします。



参考：「Manual Authorization」を選択すると、メールの本文に記載されている製品ごとの 16 進数の長いコードを指定する必要があります。このオプションを選択する場合は入力ミスがないように十分に注意してください。

次のようなライセンスファイルの選択画面が表示されます。



7. 「Browse」ボタンをクリックして、手順 1 でコピーしたファイルを選択し、「Finish」ボタンをクリックします。

これでライセンスの取得（登録）は完了です。

ライセンスの移行

複数のライセンスを一括で請求した後で、GeneXus を使用する各ユーザーにトランスファー（.trf）ファイルを作成して配布（移行）することができます。この場合、各ユーザーのコンピュータにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンは、ライセンスの移行元のコンピュータにインストールされているバージョンと同一である必要があります。これとは逆に、個別に請求したライセンスを一箇所にまとめることもできます。ただし、ライセンスの有効日数（残存日数）が同じである必要があります。この場合も「GeneXus License Manager」のバージョンが同じでなければなりません。

ライセンスの移行には次の 2 通りの方法があります：

- **Direct Transfer:** このオプションでは、ライセンス管理者のコンピュータ（ソースマシン）または Protection Server（ソースサーバー）から、同じネットワーク上の別のユーザーのコンピュータ（ターゲットマシン）または Protection Server（ターゲットサーバー）に 1 つ以上のライセンスを移行することができます。GeneXus Protection Server がターゲットサーバーにインストールされている必要があります。
- **Register Transfer:** このオプションは、2 台のコンピュータ間で 1 つ以上のライセンスを移行する場合に使用します。2 台のサーバー間、2 台のコンピュータ間、サーバーとクライアントコンピュータ間、クライアントコンピュータとサーバー間で実行可能です。

ネットワーク上のユーザーにライセンスを移行する

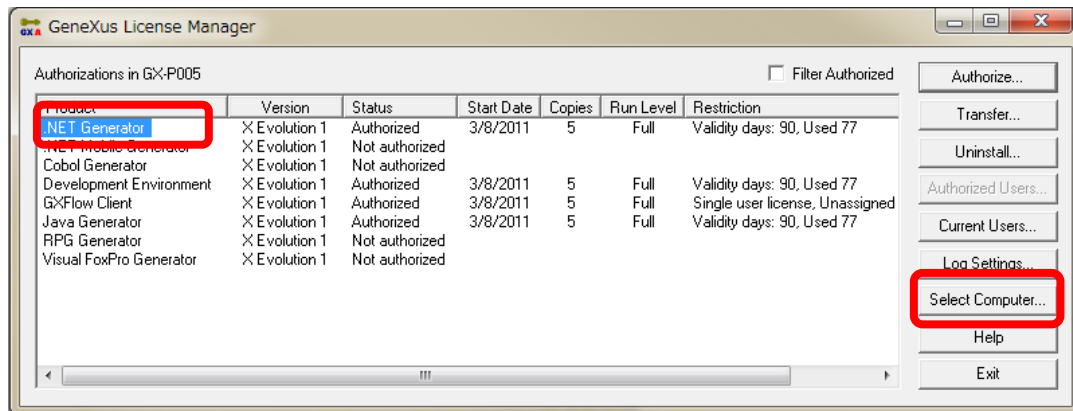
このセクションでは、ライセンス管理者のコンピュータ（ソースマシン）または Protection Server（ソースサーバー）からネットワーク上の別のユーザーのコンピュータ（ターゲットマシン）またはサーバー（ターゲットサーバー）にライセンスを移行する方法について説明します。

重要：ライセンスを移行する前に各ユーザーのコンピュータおよびサーバーにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンが同じであることを確認してください。異なるバージョン間ではライセンスの移行はできません。

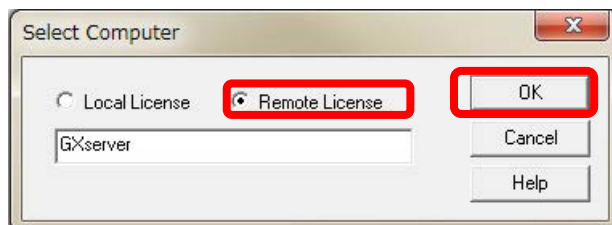
重要：複数の製品のライセンスを移行する場合、製品ごとにトランスファーファイルを作成する必要があります。ただし、同一製品のライセンスであれば、1 つのトランスファーファイルに複数格納することができます。

Protection Server からライセンスを移行する

1. ターゲット（ライセンスの移行先）マシンまたはサーバーの GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。
「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。
この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

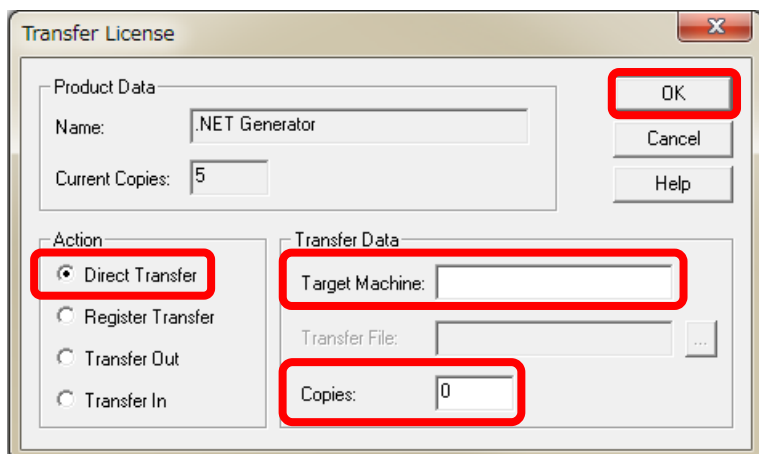


2. ライセンスを移行する製品名を選択してから、「**Select Computer**」ボタンをクリックします。



3. 「**Remote License**」ボタンをクリックして、ソースサーバー（ライセンスの移行元）を指定し、「**OK**」ボタンをクリックします。

4. 「**Action**」セクションの「**Direct Transfer**」ボタンをクリックし、「**Target Machine**」フィールドにライセンスの移行先のコンピュータまたはサーバーを指定し、「**Copies**」フィールドに移行するライセンス数を指定します。

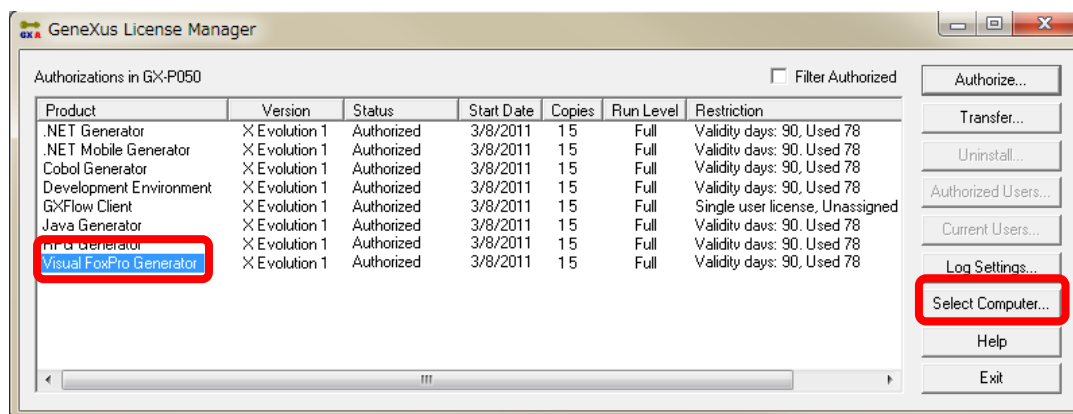


5. 「**OK**」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 2～5 を繰り返します。これでライセンスの移行は完了です。

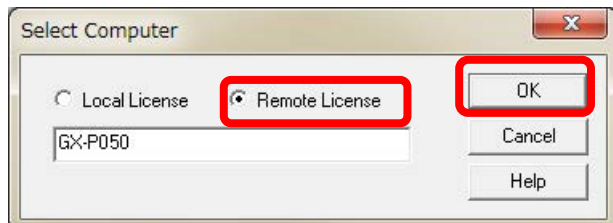
ライセンスがインストールされているマシンからライセンスを移行する

1. ソースマシン（ライセンスがインストールされているコンピュータ）の GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

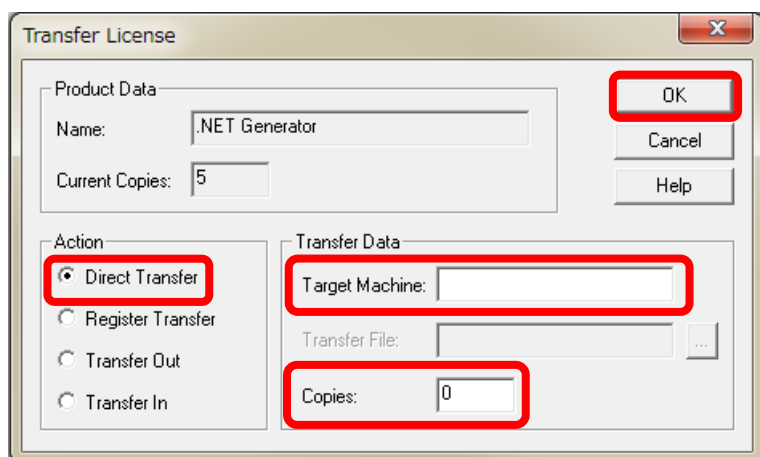
「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. ライセンスを移行する製品名を選択してから、「**Select Computer**」ボタンをクリックします。



3. 「**Remote License**」ボタンをクリックして、ソースマシン（ライセンスの移行元）を指定し、「**OK**」ボタンをクリックします。
4. 「**Action**」セクションの「**Direct Transfer**」ボタンをクリックし、「**Target Machine**」フィールドにターゲット（ライセンスの移行先）マシンまたはサーバーを指定し、「**Copies**」フィールドに移行するライセンス数を指定します。



5. 「**OK**」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 2～5 を繰り返します。
これでライセンスの移行は完了です。

参考： 移行するライセンスがコンピュータにインストールされている場合、「**Direct Transfer**」オプションはそのコンピュータ（ソースマシン）から実行する必要があります。移行するライセンスがサーバーにインストールされている場合には、ソースサーバーからでもターゲットサーバーからでも実行することができます。

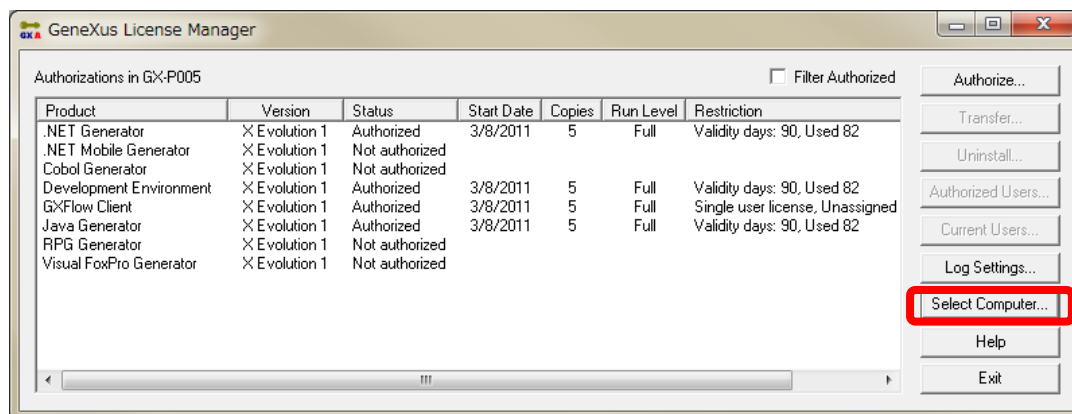
2 台のコンピュータ間でライセンスを移行する

ここでは、2 台のコンピュータ間で 1 つ以上のライセンスを移行する方法について説明します。この場合、はじめにライセンスの移行先のコンピュータ（ターゲットマシン）でライセンス情報の登録用ファイルを作成（Register License）し、次にライセンスがインストールされているコンピュータ（ソースマシン）でライセンス情報を書き出し（Transfer Out）、最後にターゲットマシンでライセンスを読み込む（Transfer In）操作を実行する必要があります。

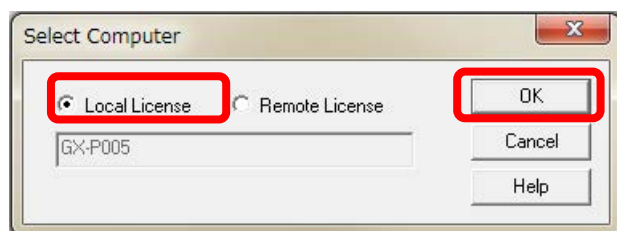
重要：ライセンスを移行する前に各ユーザーのコンピュータおよびサーバーにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンが同じであることを確認してください。異なるバージョン間ではライセンスの移行はできません。

1. ターゲットマシンの GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

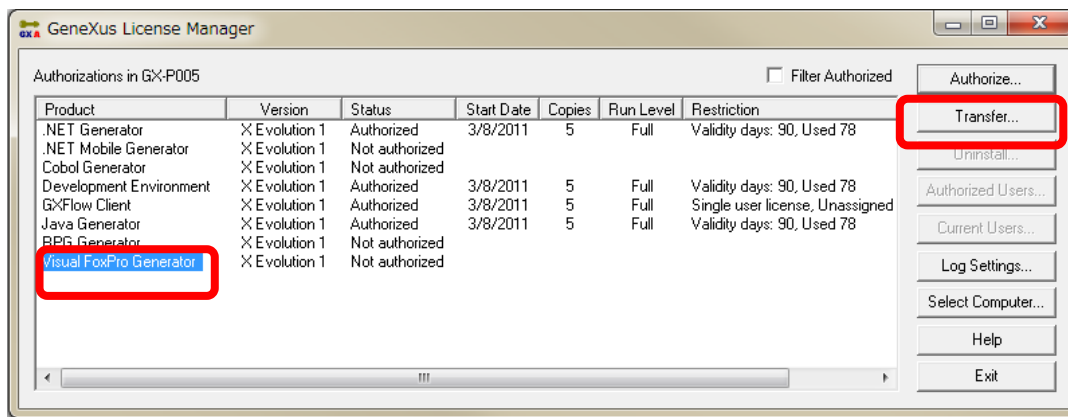


2. 「**Select Computer**」をクリックします。「Select Computer」ウィンドウが表示されます。



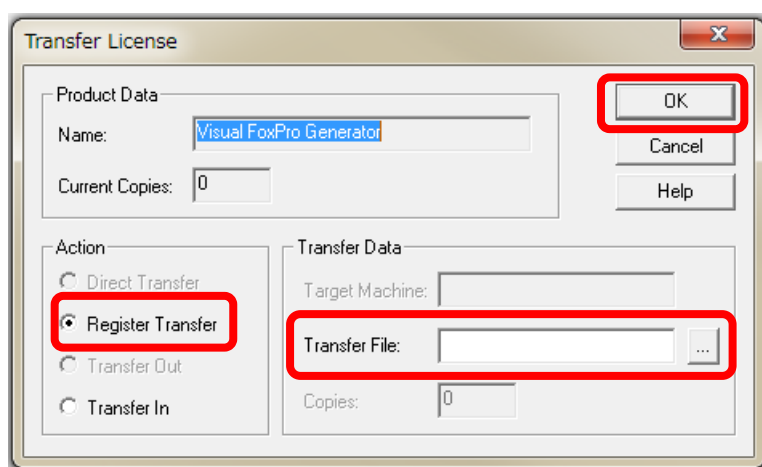
3. 「**Local License**」のオプションが選択されていることを確認し、「**OK**」ボタンをクリックします。

「License Manager」の起動画面に戻ります。



4. ライセンスを移行する製品名を選択してから、「**Transfer**」ボタンをクリックします。

「Transfer License」画面が表示されます。



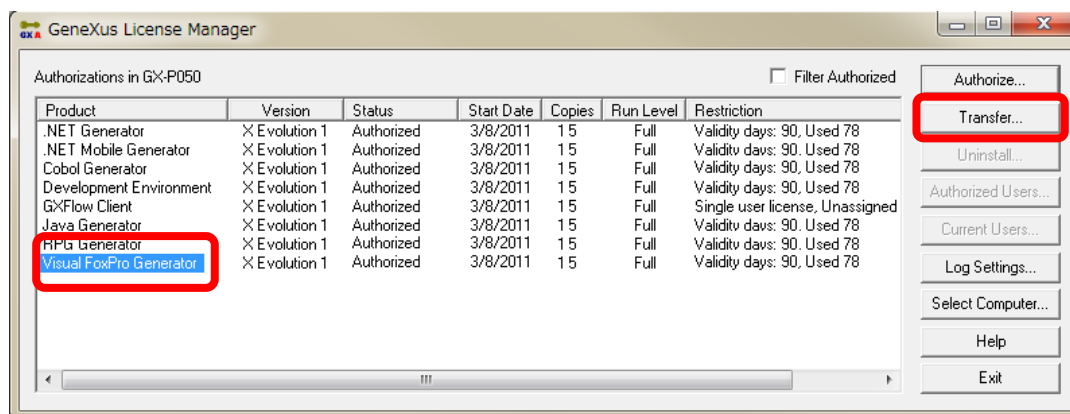
5. 「**Action**」セクションの「**Register Transfer**」を選択し、「**Transfer File**」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、「**GxProt.trf**」ファイルの保存先を指定します。

参考：「**GxProt.trf**」は既定のファイル名です。「.trf」の拡張子を持つ、任意のファイル名に変更してください。

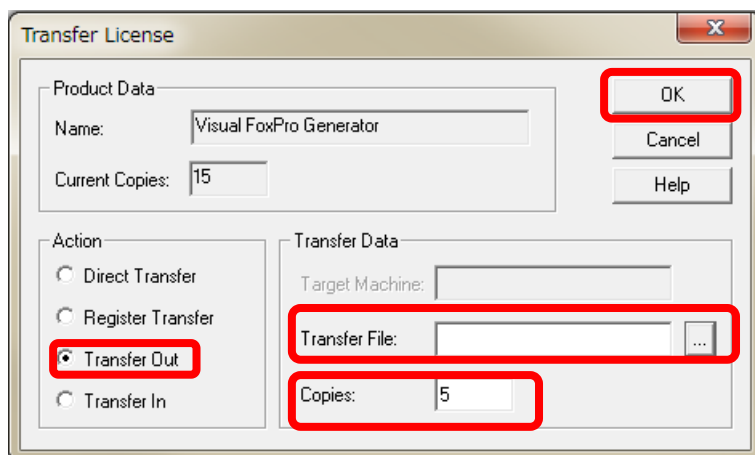
6. 「**OK**」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 4～6 を繰り返します。
7. 「**GxProt.trf**」ファイル（複数のライセンスを移行する場合はすべての .trf ファイル）をソースマシン（ライセンスキーがインストールされているコンピュータ）にコピーします。

この後、ソースマシンで操作を行います。

8. ソースマシンから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



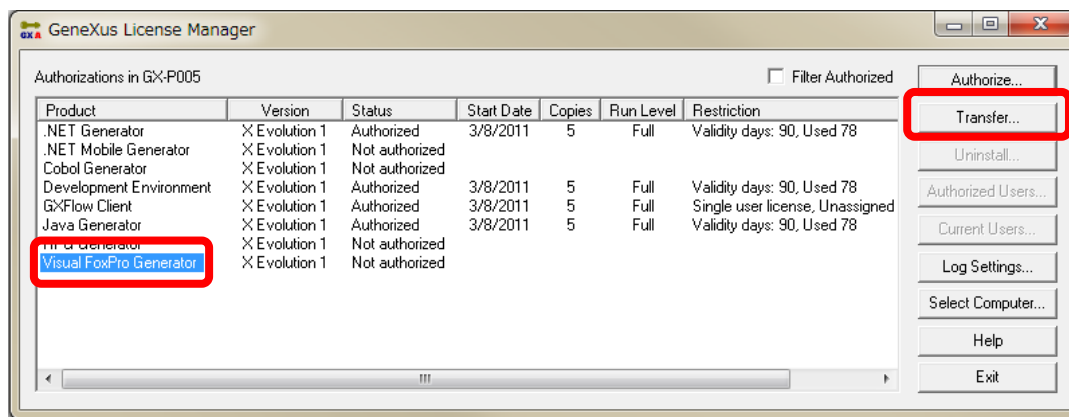
9. ライセンスを移行する製品名を選択してから、「**Transfer**」ボタンをクリックします。
10. 「**Action**」セクションの「**Transfer Out**」を選択し、「**Copies**」フィールドに必要な数を入力してから、「**Transfer File**」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 5 の「**GxProt.trf**」ファイルを選択します。



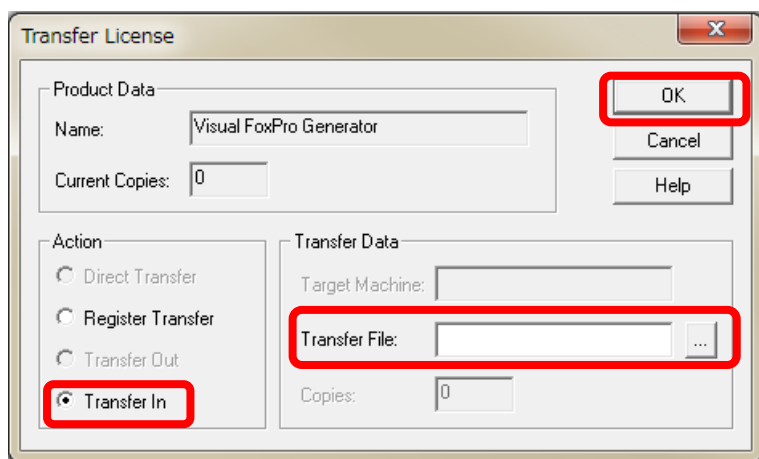
11. 「**OK**」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 9～11 を繰り返します。
12. ライセンスデータを格納した「**GxProt.trf**」ファイル（複数のライセンスを移行する場合はすべての .trf ファイル）をターゲットマシンにコピーします。

この後ターゲットマシンに戻って操作を行います。

13. ターゲットマシンから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



14. ライセンスを移行する製品名を選択してから、「**Transfer**」ボタンをクリックします。
15. 「**Action**」セクションの「**Transfer In**」を選択し、「**Transfer File**」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 12 の「**GxProt.trf**」ファイルを選択します。



16. 「**OK**」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 14～16 を繰り返します。これでライセンスの移行は完了です。

重要：ターゲットマシンでトランスファー(.trf)ファイルを作成後に、もう一度 .trf ファイルを作成しようとすると、警告画面が表示されます。これは .trf ファイルに格納される情報が異なるためです。はじめに作成されたファイルを使って、ソースマシンですでに「Trasfer Out」処理が実行された場合、もう一度 2 度目に作成した .trf ファイルを使って「Transfer Out」処理をやりなおす必要があります。

ライセンスの再発行について

このセクションでは、予期せぬトラブルで GeneXus X Ev1 をインストールしているコンピュータが故障し、ライセンスの再発行が必要になった場合の手順について説明します。

トラブルによっては、エビデンスファイルを提出できる場合と、ハードウェアの破損により、エビデンスファイルを提出できない場合があります。それぞれのケースに応じた手順を説明します。

エビデンスファイルを提出できる場合

GeneXus License Manager のステータスを確認する

GeneXus X Ev1 が起動しない場合、「GeneXus License Manager」の「Status」欄に次のようなステータスが表示されている可能性があります：

- Suspended, data changed
- Suspended, authorization data changed

このようなステータスが表示される場合、次のことが考えられます。

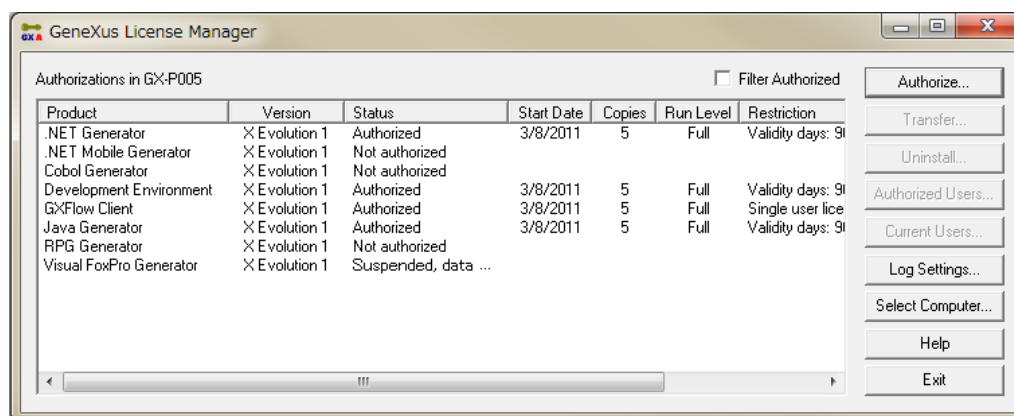
- GeneXus X Ev1 がインストールされている端末のシステム日付の変更
- レジストリー情報の修正
- OS のアップデートによるシステムの変更
- OS の不具合

重要： GeneXus X Ev1 をインストールしているコンピュータでは、システム日付を変更したり、レジストリー情報を書き換えたりしないでください。「GeneXus License Manager」がシステムデータに不正な変更が加えられたと判断し、GeneXus X Ev1 が使用できなくなる可能性があります。

エビデンスファイルを作成する

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します
(Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. 「GeneXus License Manager」の起動時の画面（上図を参照）のスクリーンショットを撮り、保存します。
スクリーンショットには「**Product**」、「**Version**」、「**Status**」、「**Start Date**」、「**Copies**」、および「**Restriction**」の「**Validity Days**」の内容が表示されている必要があります。
3. 「[新規ライセンス請求](#)」の「[オフラインライセンス請求](#)」セクションの手順 2～7 にしたがいます。
4. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルを keysmaster@genexus.jp に送信します。
 - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
 - 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
 - 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル

エビデンスファイルを提出できない場合

弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求し、必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社に郵送してください。再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、別途ライセンスの請求手続きを行ってください。ライセンス請求については、前述の「[ライセンス請求](#)」を参照してください。ライセンス喪失により「緊急ライセンス」の貸与が必要な場合は、後述の「[緊急ライセンスの発行依頼](#)」参照してください。

緊急ライセンスの発行依頼

GeneXus Japan ではトラブルによりライセンスを喪失されたお客さまのために「緊急ライセンス」を用意しています。これはライセンスが再発行されるまでの暫定的な処置として用意されている 15 日間限定のライセンスです。緊急ライセンスを取り込んだ後に、必ずライセンスの再発行を請求してください。ライセンスの再発行の方法については、前述の「[ライセンスの再発行について](#)」を参照してください。

緊急ライセンスを利用するには

次のような手順を実行する必要があります：

1. 「緊急ライセンス」が必要な旨を弊社にメールまたは電話で連絡する
2. 必要に応じて以下のいずれかを実行する
 - ライセンスをアンインストールする（前述の「[ライセンスのアンインストール](#)」を参照）
 - GeneXus X Ev1 をインストールする（前述の「[アプリケーションのインストール](#)」を参照）
3. 緊急ライセンスをインストールするためのトランスファーファイルを作成する（後述の「[緊急ライセンス用トランスファーファイルを作成する](#)」を参照）
4. 緊急ライセンス用のトランスファーファイルを GeneXus Japan に送信する（後述の「[緊急ライセンス用トランスファーファイルを作成する](#)」を参照）
5. GeneXus Japan より返送されたトランスファーファイル（緊急ライセンス格納済み）をトランスファーファイルを作成したコンピュータに取り込む（後述の「[トランスファーファイルを取り込む](#)」を参照）

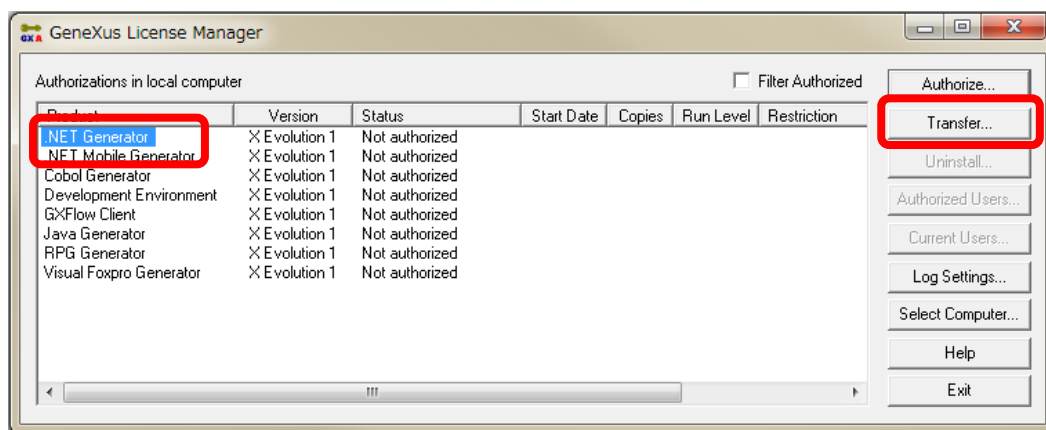
注意：取り込み完了日時を弊社までメールまたは電話でご連絡ください。

6. 緊急ライセンス取り込み完了後、緊急ライセンスが失効する前に緊急ライセンスをアンインストールしてから、正規のライセンス再発行を請求する（前述の「[ライセンスの再発行について](#)」を参照）

緊急ライセンス用トランスファーファイルを作成する

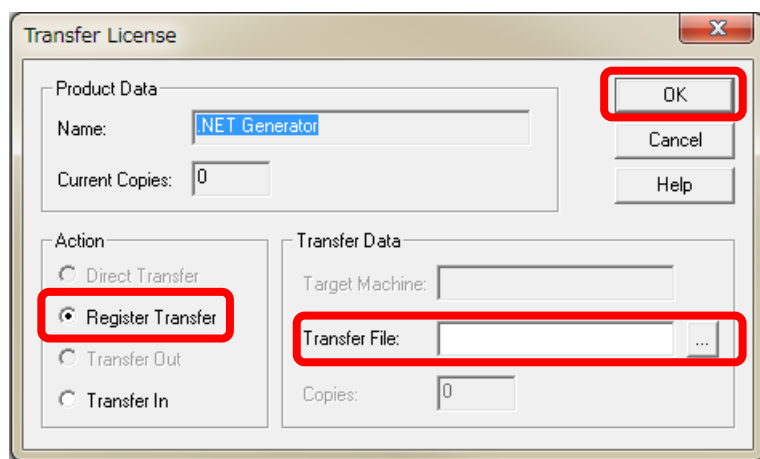
1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します
(Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. 緊急ライセンスが必要な製品名を選択してから、「**Transfer**」ボタンをクリックします。

「Transfer License」画面が表示されます。



3. 「**Action**」セクションの「**Register Transfer**」を選択し、「**Transfer File**」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、「**GxProt.trf**」ファイルの保存先を指定します。

参考：「**GxProt.trf**」は既定のファイル名です。「.trf」の拡張子を持つ、任意のファイル名に変更してください。

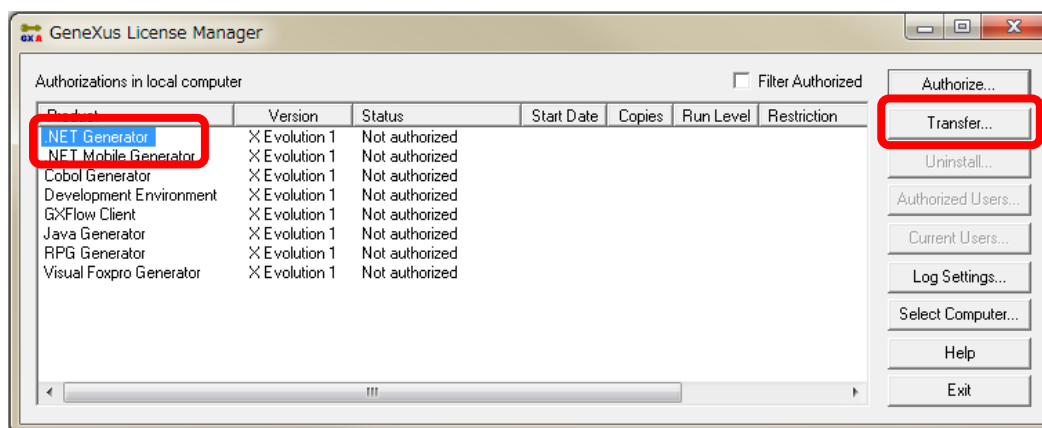
4. 「OK」をクリックします。ほかの製品のライセンスも必要な場合は手順 2～4 を繰り返します。
5. 上記の手順で作成したすべてのトランスファーファイルを GeneXus Japan に送信します。
必要な製品名とライセンス数を明記のうえ、すべてのトランスファーファイルを次のメールアドレスまで送信してください : keystmaster@genexus.jp

トランスファーファイルを取り込む

1. 緊急ライセンス用のトランスファーファイルを作成したコンピュータに GeneXus Japan から返送されたすべての.trf ファイルをコピーします。
2. 手順 1 のコンピュータの GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

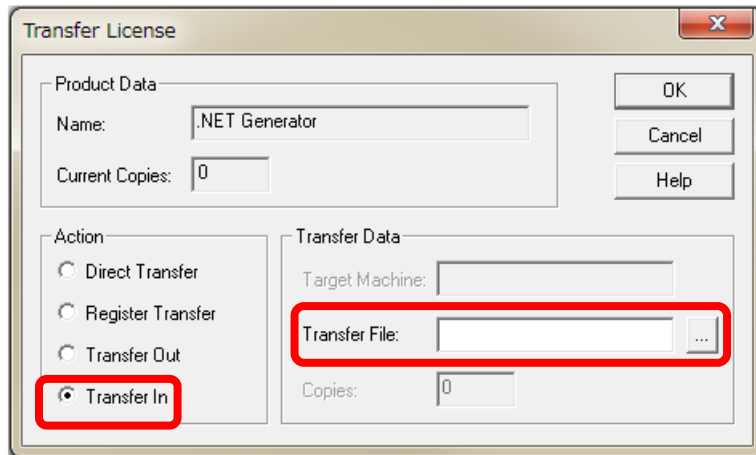
「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。

この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます



3. 緊急ライセンスを請求した製品名を選択してから、「Transfer」ボタンをクリックします。

「Transfer License」画面が表示されます。



4. 「**Action**」セクションの「**Transfer In**」を選択し、「**Transfer File**」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 1 の.trf ファイルを選択します。
5. 「**OK**」をクリックします。ほかのライセンスも読み込む場合は手順 3～5 を繰り返します。
これで緊急ライセンスの取り込みは完了です。

ライセンスが再発行されたら、緊急ライセンスをアンインストールしてから、再発行されたライセンスを取り込む必要があります。詳しくは前述の「[ライセンスのアンインストール](#)」および「[ライセンス取得](#)」を参照してください。